

「七日市場の歴史（第六十二回）」

青年会の資料から

曾根原 孝和



「青年会図書」を収めた書庫（公民館2階）

図書館運営を 平成 18 年発行の『三郷村誌 II 村落誌編』では、七日市場の青年会の発足は明確な資料がなくはつきりしませんでした。それで、特筆すべき活動として、大正の図書館運営を中心によどめました。たまたま図書が外の位置にあり、区長さんからどうしたものかと「歴史の会」が相談を受けました。先人の大事なものだからと、公民館の机上に図書を並べ、書名・発行年・著者などを調べて 557 冊にまとめました。その後、市から支援をうけ、書棚を購入して 2 階に設置し図書を保存しました。

発足の頃の情報が 令和 4 年「歴史の会」が『七日市場の歩み』を発行した時、青年会の発足の頃が少しつきりしました。

公民館の棚の隅に青年会名簿（明治 40 年）がありました。また、温明盛尋常小学校からの謝状（明治 43 年）が見つかり、青年団が小学校に雑木を寄贈し、謝状を受けたのです。ですから、明治 40 年頃には青年団が発足していました。

「祭典社」資料から 前回、錢坂家文書「祭典社規則」（明治 32 年）から、青年会の発足の頃がはつきりしてきたことを記しました。

青年会は明治 40 年には発足し、しばらく祭典社の社員と混在して活動していたようです。資料が見つかることにより、地域の歴史が明るくなり、先人のご苦労の姿がはつきり浮かんできます。

今年は太平洋戦争終結八十周年です。戦時中の生活を思い出しますと、物がなく厳しい生活がありました。ただ、隣近所の付き合いは、子どもを通し温かかったように思いました。

資料を見つけて 戦後 80 年、戦時中の生活や地域の暮らしにつながる資料を探しています。記録の一端、写真の一枚でもかまいません。何かありましたらお知らせください。明治のころのものも貴重です。併せてお願ひいたします。